

歯 車

河北町立西里小学校
学校便り
令和4年1月31日

nishizato



3学期は次の学年の0学期 ～まとめと準備の48日間～

思い思いの年末年始を過ごした子どもたちが学校に戻り、新学期を迎えることができました。雪の多い休みとなりましたが、児童・職員ともに大きな事故やけがもなく過ごすことができました。何を何よりもうれしく思います。地域や保護者の皆様のご協力、誠にありがとうございました。始業式では子どもたちに次のようなことを話しました。

今年の干支は十二支の3番目「とら」です。とらは「寅」と書き、まっすぐに伸ばすとか、人前に立って技を見せるという意味があることから、芽を出したものが成長していく年だと言われているそうです（諸説あります）。皆さんにとっても、成長の見える年であってほしいと願っています。

さて、2学期の終わりに5年生の学級通信にふり返りの作文が載っており、その中にこんな文章を見つけました。「3学期は6年生に向けて、掃除当番の班長が回ってきたり、6年生を送る会の内容を5年生で企画したりします。9人で何としてもがんばりたいし、今のうちに6年生の行動をよく見て、6年生に進級する準備をしていきたいです。」他の5年生も同じような意味のことを書いている人がたくさんいました。3学期を何となく過ごしたらいけない。次の学年に向けた準備の学期にするのだという強い意思を感じました。

これにぴったりの言葉があります。「3学期は次の学年の0学期」つまり、3学期から1つ上の学年になる準備をはじめるといことです。これは、5年生だけでなくすべての学年に当てはまります。

では、次の学年の0学期をどうしていけばよいでしょう。わたしが大事だと思うことは2つです。1つめは、今の自分をしっかり見つめることです。次の学年の4月に、自分は学習や生活でどういう姿でいたいのかを考えることです。2つめは、その姿になるために、具体的な目標と行動を決めて、取り組むことです。例えば、「きちんと生活する」だと、「きちんと」に具体性がありません。それよりは、「自分からあいさつする」「今より15分早く起きる」など、できたかどうか自分ではっきりわかる目標にして行動に移すことで、少しずつ新しい自分になっていくことができます。

3学期はあっという間です。ここにいる1年生から6年生まででいっしょに過ごせるのも、あと48日間だけです。伝えたいこと、聞きたいことをしっかりと交流していきましょう。

6年生は、最後までリーダーとしてやり遂げてください。その姿を5年生がしっかりと見届けます。そして、全員が後に続き、新しい学年に向けた力を蓄えましょう。

3学期が始まってから、4年生に自分から進んであいさつをする子が増えたと感じています。5年生は「来年度の西里小学校をどんな学校にしていきたいか」をクラスで話し合ったそうです。たくさん出てきた意見の中から「みんなが力を合わせる」「みんながにこにこできる」「ありがとうがあふれる」に集約されたと聞きました。どれも素敵な言葉です。

現在の6年生はもちろん、来年度の高学年がしっかりと自覚を持って3学期をスタートし、他の学年も元気に過ごしていることをうれしく思います。保護者の方々、地域の皆様には引き続き温かく見守ってくださるようお願いいたします。